

みんなで作る 未来の場 かたち ぶらっと

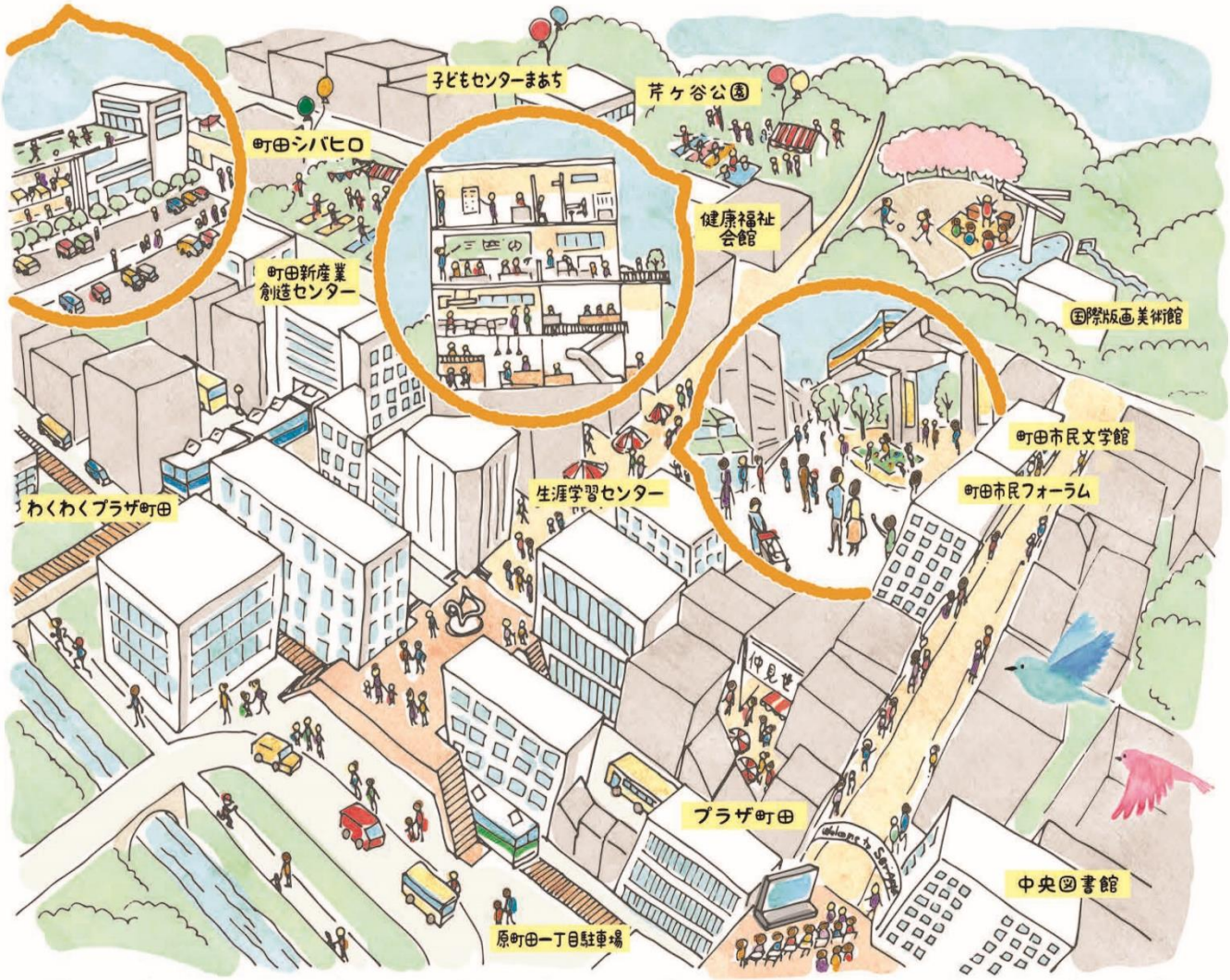
2021年
12月15日号 **8**
Vol. 8

発行:町田市 編集:政策経営部企画政策課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
TEL 042-724-2103 FAX 050-3085-3082

公共施設マネジメントに関する
詳しい情報はこちら(町田市
ホームページ)をご覧ください。



「ぶらっと」には、ぶらっと誰でも気軽に立ち寄れるという意味と、みんなが集い交流するプラットフォームという意味を込めました。本紙は不定期発行です。



皆さまのご意見をお寄せください

(仮称)町田市町田駅周辺公共施設再編構想・(仮称)町田市境川団地地区 まちづくり構想

町田市では、高度経済成長期の急激な人口増加等に対応するために整備した多くの公共施設が老朽化してきています。これらの改修や建替えの機会をチャンスと捉え、人口減少や、厳しい財政状況、暮らしの変化等といった社会状況の変化に適応した将来につながるかたちへ変えていきます。

2021年度は、公共施設が最も多く点在している町田駅周辺に焦点を当て、公共施設の再編により目指す姿を示す「(仮称)町田市町田駅周辺公共施設再編構想」の策定に向けた検討を進めています。

また、木曽東にある教育センターの複合化を契機として、境川団地地区の再生を推進するため、まちづくりの目標・実現に向けた方策等を示す「(仮称)町田市境川団地地区 まちづくり構想」の検討も併せて進めています。

策定に向け、ぜひ皆さまのご意見をお寄せください。

市民意見募集

募集期間

2021年 12月15日(水)～2022年 1月13日(木)

資料の閲覧・配布

資料は、町田市HPに掲載するほか、市庁舎(4階企画政策課、1階広聴課・市政情報課)、各市民センター、各市立図書館等で閲覧・配布します。

ご意見の提出方法

- ①窓口(市庁舎4階企画政策課)
- ②FAX: 050-3085-3082
- ③Eメール: mcity2980@city.machida.tokyo.jp

留意事項

- 提出書式は自由ですが、件名(「(仮称)町田市町田駅周辺公共施設再編構想」・「(仮称)町田市境川団地地区 まちづくり構想」)を必ずご記入ください。
- 電話・窓口での口頭によるご意見はお受けできません。
- ご意見要旨及び市の考え方は、市HPにて2022年3月に公表予定です。



詳しくはこちらから

公共施設のより良いかたちや、まちの将来像と一緒に考えよう!



(仮称)町田市町田駅周辺公共施設再編構想 民間とのコラボレーションによる5つの再編プロジェクト

構想の目指す姿

- ◆施設総量を圧縮しながらも、社会状況の変化や市民ニーズを捉えた公共サービスの維持・向上を図ります。
- ◆民間事業者とのコラボレーションにより、新たな価値を創出します。
- ◆市有地を有効活用し、街の魅力向上につなげます。



構想の基本的な考え方



公共施設再編の視点

社会状況の変化等による公共サービスのニーズの変化を捉え、施設総量の圧縮、ライフサイクルコストの縮減、民間とのコラボレーション、既存資源の有効活用を図りながら、将来につながるかたちにリデザイン（最適化）します。



まちづくりの視点

多摩都市モノレールの延伸をきっかけとしたまちづくりの動きと連動して、点（公共施設）ではなく、面（エリア）での公共施設の再編を進めます。また、公共施設を集約・複合化することで空いた市有地は、多摩都市モノレールの延伸事業などのまちづくりへの寄与や、さらなる魅力向上につなげていきます。

5つの再編プロジェクト

プロジェクトA 2つの美術館と芹ヶ谷公園の一体的整備

2019年度に閉館した市立博物館の収蔵品の一部や活動を引き継ぐ(仮称)国際工芸美術館は、芹ヶ谷公園内にある国際版画美術館と近接させ整備します。この2つの美術館は、「パークミュージアム」のコンセプトのもと、芹ヶ谷公園と一体的に整備し、公園全体に美術活動を展開する拠点となる「美術エリア」を形成します。



プロジェクトの効果

美術館と公園が継ぎ目なくつながることで、公園全体が芸術を体験できるフィールドとなり、公園の豊かな自然を感じながら、様々なアートに親しむことができるようになります。

▲芹ヶ谷公園内でのアート体験イベントの様子

プロジェクトB 2つの保健施設の集約

近接している2つの保健施設（健康福祉会館と保健所中町庁舎）を集約し、健康福祉会館用地に新しく建替えます。また、新たな施設では、2つの保健施設の機能に加え、スペースの一部を民間事業者へ貸し出し、保健施設と親和性のある子どもや医療健康に関する民間サービス、地域の魅力・利便性向上につながる民間サービスの導入を目指します。



プロジェクトの効果

町田駅徒歩圏内に2つの保健施設が集約されるとともに、保健施設と親和性のある民間サービス等も複合化されることで、便利に利用することができます。また、感染症対策が講じられた建物となることで、より安心して利用することができます。

プロジェクトC 教育センターの複合化

教育センター・子ども発達センター・わくわくプラザ町田を複合化し、教育センター用地に新しく建替えます。また、複合化により空いたスペースは民間事業者へ貸し出し、地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる民間サービスの導入を目指します。



プロジェクトの効果

子ども発達センターと教育センターを複合化することで、幼児期から学齢期まで切れ目のないサポートを受けることができます。

プロジェクトD 産業支援施設の複合化

事業者や働く人のチャレンジをさらに支援するほか、人の交流を通じた新たな価値を創出するなど、市の産業振興を加速させるため、町田新産業創造センター、町田商工会議所、町田市勤労者福祉サービスセンターの産業支援施設を複合化し、町田市の産業振興を牽引する拠点を目指します。候補地は、町田新産業創造センターの現有地が適していると考えています。

プロジェクトE 図書館の集約

町田市では「あらゆる市民が利用しやすい図書館」、「子どもの読書活動を充実させる図書館」、「地域のコミュニティ形成を支援する図書館」、「地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館」の実現を目指す「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」を2020年2月に作成しました。同プランに基づき、中央図書館とささびあ図書館の集約に向けた検討を進めます。



公共施設の再編で、町田駅周辺がより便利で魅力あふれるまちになるといいね!



(仮称)町田市境川団地地区まちづくり構想

なぜまちづくり構想をつくるの?

境川団地地区は、都市計画法上の「一団地の住宅施設」により建築物の用途・位置等が厳格に定められていますが、団地入居者の高齢化、世帯構成の変化、古淵駅開業や都市計画道路の整備等、団地供用開始当初からの周辺環境が変わってきました。このような変化に柔軟に対応し、境川団地地区の課題への対応と魅力向上を目指すため、まちづくり構想を策定し、都市計画を変更していきます。

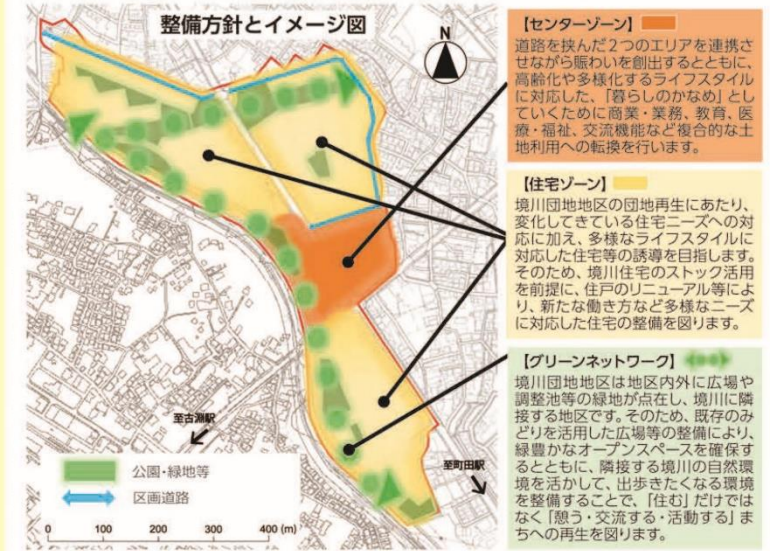
さらに良いまちを目指して、まちづくりの目標や、その実現に向けたまちづくりの方向性を考えよう!



まちづくりの目標

「多様な人が集い、地域の魅力を育むまちづくり」

- 方向性1 便利で賑わいのあるまち**
地区内外の住民の日常生活に必要なサービスを導入するなどして、豊かな暮らしを支えるまちを目指します。
- 方向性2 安心して暮らせるまち**
様々なライフステージに対応した住環境の整備を図るなどして、住み続けられるまちを目指します。
- 方向性3 楽しく交流できるまち**
地域住民の憩いの場となる居場所づくりを進めるなどして、多世代が共生できるまちを目指します。
- 方向性4 身近な自然を活かしたまち**
広場空間や歩行空間の整備を進めるなどして、いつまでも健康で歩きたくなるまちを目指します。



【センターゾーン】

道路を挟んだ2つのエリアを連携させながら賑わいを創出するとともに、高齢化や多様化するライフスタイルに対応した、「暮らしのなかま」にいくために商業・業務、教育、医療・福祉、交流機能など複合的な土地利用への転換を行います。

【住宅ゾーン】

境川団地地区の団地再生にあたり、変化してきている住宅ニーズへの対応に加え、多様なライフスタイルに対応した住宅等の誘導を目指します。そのため、境川住宅のストック活用を前提に、住戸のリニューアル等により、新たな動きや多様なニーズに対応した住宅の整備を図ります。

【グリーンネットワーク】

境川団地地区は地区内外に広場や調整池等の緑地が点在し、境川に隣接する地区です。そのため、既存のみどりを活用した広場の整備により、緑豊かなオープンスペースを確保するとともに、隣接する境川の自然環境を活かして、歩きたくなる環境を整備することで、「住む」だけでなく「憩う・交流する・活動する」まちへの再生を図ります。

境川団地地区はどんなところ?

教育センターや東京都住宅供給公社境川住宅を含む約26haのエリアで、町田駅へアクセスできるバスも多く交通利便性が高いことに加え、境川とも隣接しており自然にも恵まれたところです。

公共施設再編 NEWS

●旧忠生第六小学校の健康増進関連拠点整備について●

「本郷山崎団地地区まちづくり構想」において「健康増進関連拠点」として位置づけている旧忠生第六小学校は、「食」と「スポーツ」の両面からの健康増進を目指しています。「食」の観点からは、中学校給食センターを整備し、「スポーツ」の観点からは体育館等の整備を検討していきます。



中学校給食センターの整備については、4面を見てね!



まちだの新たな学校づくり ともに学び、ともに育つ学び舎づくり



町田市では、児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化から、学校統合等を契機とした新たな学校づくりに取り組んでいます。2040年度までに、市立小学校を42校から26校、市立中学校を20校から15校に統合します。あわせて、老朽化した校舎を建替えることで、まちだの未来の子どもたちにより良い教育環境を整備し、市民が交流し活動する愛着ある地域拠点となるような環境づくりをしていきます。

まちだの新たな学校づくり Machida New School Project 2040



夢や志をもち、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育むことができる環境をつくる



子どもだけではなく、大人もともに学び、ともに育つ場をつくる



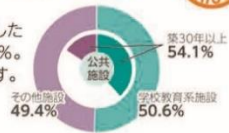
小学校20校
中学校7校
を建替え

学校を取り巻く環境変化

- 1960年 学校を大量に建設
- 1970年 児童・生徒数が過去最大
- 1980年 木曽山崎団地区での学校統合
- 2000年 児童・生徒数が約30%減少
- 2021年 築60年を超える学校が続出
- 2040年

町田市全体で公共施設の老朽化が課題

築30年以上経過した公共施設は54.1%。その多くは学校です。



学校施設が抱える課題

- ① 学校施設の老朽化
全ての学校施設を維持するためには約3075億5千万円かかります。このことから、全てを維持していくのは難しい状況です。
- ② 学校施設が今の時代に合わなくなっている
1960~70年代に建てた学校施設は、教育環境の変化により、今の時代に合わなくなっています。これからの学校は、学ぶ内容や方法などが変わっても柔軟に対応できるように求められています。

新たな学校をつくろう



教室が広くなると、みんなが話しやすく、沢山アイデアがでせそう!

荷物が全部ロッカーに入るよ!

オープンスペースを備えた小学校

図書や多様なメディアがあるラーニングセンター



地域の活動もいろいろできそう。大人も学校に行きたくなるの。

4校の新たな学校づくりを始めました!

地区	統合する小学校	学校候補地	新校舎使用開始目標年度
本町田	本町田東小	○	2028
	本町田小		
	町田第三小		
南成瀬	南第二小	○	2028
	南成瀬小		
鶴川東	鶴川第二小	○	2029
	鶴川第三小(一部)		
鶴川西	鶴川第三小(一部)		2029
	鶴川第四小	○	

「新たな学校づくり 基本計画」をつくろう

基本計画策定に向けて、検討会を立ち上げます。新たな学校をつくるにあたり検討が必要な事項について、保護者や地域の方と話し合い、統合新設校ごとに「新たな学校づくり基本計画」を策定します。

主にこんなことを検討していくよ。
学校名・教育目標
通学区域変更時の教育的配慮
通学の負担軽減・安全対策
学校の歴史の継承 etc...

跡地の検討も始まるのね



中学校給食センター整備を進めています

町田市教育委員会では、成長期の中学生全員にできる限り早期に安全・安心な温かい給食を提供するため、2025年度までに「給食センター方式による全員給食」を導入する取り組みを進めています。給食センターは、中学生への給食提供だけでなく、それぞれの地域の中で、幅広い世代の皆様にも活用される「食を通じたみんなの健康づくりの拠点」となることを目指し、市内3箇所に整備する予定です。

食を通じて地域みんなで健康に!

育ち盛りの中学生に安全で美味しい給食を届けます

災害時に地域の食を支える施設を目指します

地域の方々が、栄養バランスの取れた給食を食べたり、食や健康についての学びや体験を楽しむことができる場とします

給食センターはココにつくります!



- 【今後の予定】
- 2021年12月 [(仮称)町田市中学校給食センター整備基本計画] (案) の公表
 - 2022年 1月 基本計画 (案) について意見募集
 - 2022年 3月 [(仮称)町田市中学校給食センター整備基本計画] 策定

- 2022年度 事業者公募
- 2023年度 設計・工事開始
- 2024年度中 1箇所目のセンター稼働
- 2025年度中 2・3箇所目のセンター稼働



町田市公共施設マネジメント 検索

この広報紙は、100,000部作成し、1部あたりの単価は6円です。(職員人件費を含みます。)